

豪雨及び台風15号による災害

初めに、8月6日の1時間当たりの最大雨量51㎜、総雨量139㎜に及び集中豪雨による主な災害状況を報告します。

土木関連では、同日午前5時ころ、市道大館松木線松木地下道内に大量の雨水が流れ込み、通行不能となりました。この際、警告灯が作動せず、車5台が水没する事故が発生しましたことを、深くお詫びします。現在、被害車両への補償など、誠意を持って話し合いを進めているところです。このほか、道路への冠水が、主に長木川以北で多く見られましたが、いずれも軽微な被害にとどまりました。

また、同日午前5時20分ころ、字長倉地内の愛宕神社南側にある擁壁が、高さ5m、幅10mに渡って崩落し、隣接する民家の倉庫が全壊しましたが、幸いけが人はありませんでした。関係者及び関係機関と、早急に復旧工事に着手するよう協議を進めています。

次に、8月20日の台風15号による災害状況は、農業関連では、強風のため、果樹やホップ、野菜などに落果などの被害がありました。土木関連では、市道や学校敷地内などで樹木の倒れる被害が多数ありましたが、こちらも幸い、けが人はありませんでした。

次に、果樹、野菜などは、8月20日の台風15号の接近に伴う強風により、倒木や落果などによる被害が発生しました。主な作物別の被害額は、リンゴが2,210万円、梨は590万円、山の芋で1,230万円、葉たばこが520万円、ホップ530万円、ネギ1,120万円で、合計6,000万円を超える被害額が見込まれています。被害を受けられた農家の皆さんに心からお見舞いを申し上げます。

広域市町村圏組合消防署の灯油漏れ

8月2日、広域消防署において埋設配管から灯油が漏れ、地下に浸透していたことが判明しました。調査の結果、油の点検用ます内の管のジョイント接合部分が腐食して、微細な穴が空いたことが原因でした。

今後、収穫期を迎えるリンゴ、梨の品質低下が懸念されますが、市では、被災農家への経営相談、金融相談などの支援策を、関係機関と連携しながら対応します。

農作物の生育状況



台風15号に伴う強風での被害

基幹作物である水稻は、7月下旬から8月上旬の猛暑により生育が進み、出穂期は8月1日ころと、平年より4日程度早く、その後の登熟もおおむね良好に推移しています。作柄概況も「平年並み」となっており、今後も「あぜみちだより」を活用しながら、指導センターやJAあきた北など関係機関とともに、穂いもち病やカメムシ類の徹底防除を呼びかけていくことにしています。

3月末まで休館

花矢図書館は、建物の老朽化により4月から休館していましたが、地域の連絡協議会から「花矢図書館の建設について」の請願が提出され、移転先の決定までには、いましばらく時間が必要となること

花矢図書館

から、来年3月末まで休館することになりました。利用者にはご不便をおかけしますが、移動図書館「おおとり号」の運行を引き続き実施しますので、ご理解をお願いします。

そのほかの報告

第37回大館大文字まつり
平成16年成人祭
第54回秋田県公民館大会

国民体育大会開催が正式決定
公共事業の進行状況
台風16号による災害